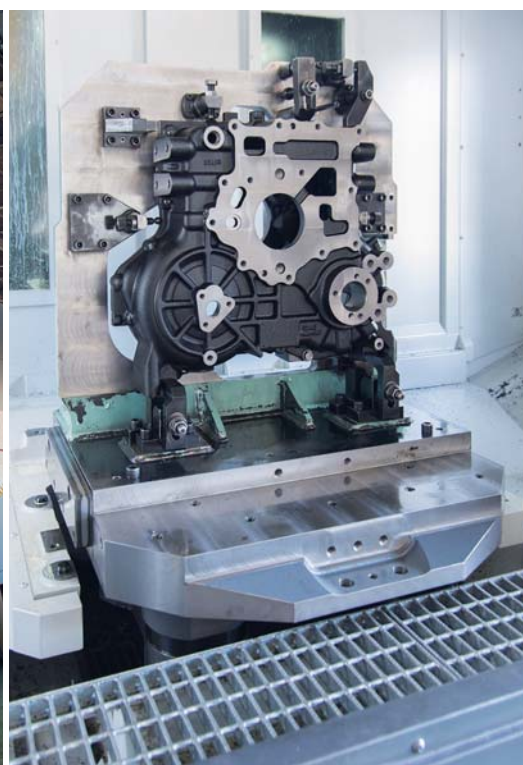


大蔵精機株式会社

事業計画名

海水淡水化プラント及びガス関連プラント市場への事業展開

拡大が期待される新興国向け、海外プラント市場への参入
技術力とテクノロジーとの融合で事業拡大を目指す



新規導入のマシニングセンタ。テーブルが大きいので、これまで対応できなかった大きい製品の加工が可能になった。

事業の背景・目的

近年、低価格ポンプについては日本以外のアジア系メーカーが市場を占めつつあり、国内の産業としては空洞化が進行している。一方、大規模プラント向けの設備は、総合力で勝る日本メーカーの得意分野であり、これらの施設に使用される大型の高圧ポンプは高付加価値が期

待される魅力的な市場となっている。

今後も特殊大型ポンプ市場は拡大が予想されるため、当社の長年培ってきた主力製品である水中ポンプの技術を活かし、事業拡大を目指すために新規マシニングセンタの導入を行う。

企業データ

主要生産品

水中ポンプ、油圧バルブ、減速機、排ガス処理装置、オゾンナイサー

「信頼は品質でお届けする大蔵精機」を掲げ、素材及び部品調達、加工、組立、テスト、梱包まで一貫した生産体制



大蔵精機本社

代表者	原田 啓太郎
住 所	山形市鑄物町44番地
電 話	023-643-7266
FAX	023-643-1947
e-mail	info@okuraseiki.co.jp
URL	http://www.okuraseiki.co.jp
設立年	昭和41年6月
資本金	2,700万円
従業員	40名

事業内容

精度向上、加工可能ワークサイズ拡大、生産効率向上の目的で、マシニングセンタを導入した。

マシニングセンタ導入と当社の水中ポンプの製作技術を融合させることで、顧客から要求される高精度で大型の精密加工が可能になった。

特殊大型ポンプ市場として3つをターゲットとした。

①海水淡水化プラント。世界的に水不足が深刻化しており、その打開策として近年増加しているのが、海水を処理して淡水を作り出す海水淡水化プラントである。

②ガス生産プラント。ガス田で取り出された天然ガスから不要物や環境汚染物質、水分などを除去し、冷却を行って液体化する工程を行う一連の施設である。

③火力発電プラント。化石燃料を燃焼させ、そのエネルギーによってタービンを回転させ発電する施設。それに付随する設備を含めたものが火力発電プラントである。

以上のプラントに必要とされる特殊大型ポンプ市場への対応を可能にすることで、売上の増加、拡大を目指す。

事業の成果

マシニングセンタの導入により、現状の市場要求は達成することができた。これからツールや加工条件を最適化していくことで、さらなる向上が可能である。

また、ワークサイズは今までの約2倍のサイズが加工可能となり、より大型のワークに対応できる。

現状すでに、重切削が可能になったことと、センター

スルーによって穴あけの速度が上がったこともあり、加工にかかる時間が約20%短縮された。

今回のマシニングセンタの導入により、当初目的としていた製品の受注以外の試作品開発図面による案件も増えつつあり、対外的には効果的なPRになっている。

今後の展望

当社は、大規模プラント建造に関わっている日本有数の大手ポンプメーカーとの取引実績があり、最近では、新興国向けプラント市場の引き合いも強くなっている。今後も大きな市場がほぼ確実となっている海外向けの特殊大型ポンプの受注倍増を目指し、さらなる新規設備導入を検討し、精度向上、加工能力アップとマシニングと技術力を武器に高付加価値製品の受注につなげていく。



海水淡水化ポンプの一部。